

令和8年度学校経営計画

学校名 東広島市立福富小・中学校

学校長名 小島美樹

I 学校の状況

学級数	13	児童・生徒数	70・45	教職員数	37
メールアドレス	fukutomi-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/fukutomi_sho_chu/index.html				

II 教育目標

夢と志をもち 今を主体的に生きる児童・生徒の育成
～想像する・挑戦する・継続する～

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

ミッション（本校の使命）

「地域と連携した協働的な学びによる小中一貫教育の推進」

ビジョン（目指す学校像）

1年後、どんな自分になりたいのか（夢）を描き、そのためにはどうしたいのか（志）という目標をもち、そこに近づくために（今）何をすればよいかを考えて行動を積み重ねることができる児童・生徒を育成する。

- ① 児童と生徒がよりよいかかわりをもつ中で、楽しく学びあうことができる学校
(児童・生徒が「喜んで登校」「満足して下校」できる学校)
- ② 夢の実現のために、目標に向かって挑戦する児童・生徒を最大限にサポートする学校
(児童・生徒の夢「どうなりたい？」と、目標「そのためにどうしたい？」、そして、今「何を積み重ねている？」を具現化し支援する学校)
- ③ 社会に開かれた教育活動を展開し、地域・保護者から信頼され応援してもらえる学校
(地域・保護者との協働による福富の「もの」「こと」「人」に触れる教育活動の展開により、主体的に社会に参画する人材を育成する学校)

目指す児童・生徒像

- ① 自ら考え進んで行動する児童・生徒
- ② 他者と意見を交わして教えあう児童・生徒
- ③ あきらめず最後までやり抜く児童・生徒

目指す教職員像

- ① 授業力向上を図り、確実に教えきる教職員
- ② 深い愛情と崇高な使命をもち、一人一人にかかわりきる教職員
- ③ 常に率先垂範し、徹底するまでやりきる教職員

小・中で共通して身につけさせたい資質・能力

- ① 「主体性」
- ② 「協働性」
- ③ 「自己の生き方を考える力」

小・中で共通して身につけさせたい行動規範

- ① 挨拶励行
- ② 時間厳守
- ③ 無言清掃

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標
確かな学力	1	主体的・協動的に学び、資質・能力を確実に育成する	基礎・基本の定着と「わかる」「できる」が実感できる授業の実践	【授業改善への取組】 ・教材研究と個別の手立て ・小中合同での研究授業 ・ICTを活用した授業 【基礎・基本の定着】 ・繰り返し学習 ・クリアタイムの実施 ・読書活動の推進	(中) ○実力テスト5教科総得点40%以下の生徒の割合【15%以下】 (小) ○国語・算数の単元まとめテスト70点未満の児童の割合【30%未満】
			自己の生き方を考える「福富型協働的な学び」の推進	【協働的な学習の充実】 ・異学年集団での学び ・地域の人々との学び 【アントレプレナーシップ教育の推進】 ・自己の生き方を考える学習 ・地域社会に参画する学習	○「授業では、相手の考えから自分の考えを広げたり、協力して取り組んだりしている」【児童生徒評価 90%】 ○「総合を通して学んだことは、地域や自分の将来に役に立つと思う」【児童生徒評価 90%】
豊かな心 健やかな体	2	かかわり合いやつながりを大切にし、豊かな心と高い志を育む	自分と他者を大切にする人間関係づくり	【自己有用感の向上】 ・集団づくりの工夫 ・道徳教育の充実 ・児童会・生徒会活動の活性化 【不登校の未然防止】 ・SSRの充実 ・SC・SSWと連携した教育相談	○「自分はクラスや学校の役に立っていると思う」【児童生徒評価 90%】 ○「学校が楽しい」【児童生徒評価 90%】 ○児童生徒面談実施【3回以上】
			基本的な生活習慣の確立と学習態度の醸成	【健康づくりへの取組】 ・全校遊びの実施 ・望ましい運動習慣の定着 ・健康教育の推進 【行動規範の徹底】 ・挨拶励行 ・時間厳守 ・無言清掃	○「健康に気をつけて生活をしている」【児童生徒評価 90%】 ○「時間を守って行動している」「無言で掃除をしている」「どんなときも気持ちのよいあいさつをしている」【児童生徒評価 90%】 【教職員評価】80%
保護者・地域からの信頼	3	学校の教育目標や経営理念、目指す児童・生徒像を教職員・児童・生徒・家庭・地域で共有し、協働した教育を推進する	地域とともにある学校づくりの推進	【学校運営協議会】 ・CS挑戦応援事業の充実 ・熟議による学校づくり 【情報発信】 ・C.S.だより、学校だよりの地域戸別配布 ・学年通信の発行 ・HPの充実	○「学校運営協議会の活性化により、事業の充実が図られている。」【保護者評価 90%】 ○「学校の様子がよくわかる。」【保護者評価 90%】
			充実感を実感することができる働き方改革の推進	【働き方改革】 ・子供と向き合う時間の確保 ・業務の効率化 ・行事の精選・見直し	○「仕事に充実感をもつことができています。」【教職員評価 100%】

※ 評価指標については発達段階に応じて詳細を設定

V 学校評価

(1) 学校評価に係る組織

① 自己評価

学校評価委員会(校長、教頭、教務主任、保健主事、研究主任、生徒指導主事)が中心となって、PDCA サイクルによる教育活動の検証と改善を行う。

② 学校運営協議会

教育課程・学校経営・組織編制の承認、学校教育活動の改善に向けた意見をいただく。学校が行った自己評価への意見や提言をいただく。

③ 学校運営協議会の構成

地域の住民、児童・生徒の保護者、関係行政機関の職員、教育委員会が必要と認めるもの

(委員: 間所克成 清水則雄 竹井文昭 丸岡功宗 松永治寿 沖田智美 二川佳子

谷川大輔 西丸裕二 周藤 翔太 住田 大輔 小島 美樹 R8.4 現在)

(2) 自己評価及び学校関係者評価等の実施計画

月	自己評価(学校評価委員会)	児童生徒・保護者 対象の活動	学校運営協議会	公表方法
4	◇学校経営基本方針、学校経営計画、学校評価計画作成 ◇第1回委員会 ・自己評価表作成(評価項目及び重点項目設定)	◇基本方針、自己評価の説明	◇委員委嘱	学校便り HP
5			◇第1回協議会 ・令和8年度基本方針及び重点活動説明、承認	学校便り C.S 便り HP
6	◇第2回委員会 ・進捗状況確認			学校便り C.S 便り
7	学校評価アンケート実施			学校便り C.S 便り HP
8	◇第3回委員会 ・自己評価中間評価実施 ・改善策検討及び評価指標再設定	学校公開等の実施 ・授業参観 ・学校行事	学校訪問等の実施 ・日常の参観 ・学校行事 ・日常的な連携・意見交流	学校便り HP
9	◇第4回委員会 ・自己評価中間報告書作成			学校便り C.S 便り HP
10				学校便り C.S 便り HP
11		◇中間評価公表	◇第2回協議会 ・教育活動の進捗状況説明(授業参観)、意見収集	学校便り C.S 便り HP
12	学校評価アンケート実施			学校便り C.S 便り HP
1	◇第5回委員会 ・自己評価最終評価実施 ・改善策検討	学校公開等の実施 ・授業参観 ・学校行事	学校訪問等の実施 ・日常の参観 ・学校行事 ・日常的な連携・意見交流	学校便り C.S 便り HP
2	◇第6回委員会 ・自己評価最終報告書作成 ・学校関係者評価の結果を踏まえた改善策検討			学校便り C.S 便り HP
3		◇最終評価公表	◇第3回協議会 ・令和8年度教育活動の成果及び課題説明 ・令和9年度基本方針説明	学校便り HP

継続的な情報収集・資料収集・整理

